

## 令和8年度 学校自己評価（年度初め）

本年度の 重点目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 社会的自立に向けて主体的に取り組み、個性や能力を生かしながら多様な人々と協働できる生徒を育てる。</li> <li>2 従来の指導方針を継承しつつ、社会のニーズも視野に入れたキャリア教育を進める。</li> <li>3 いじめ・不登校等への支援、作業中の事故や熱中症等への対策を通して、安全で健康的に活動できる環境を整える。</li> <li>4 事業所や関係機関、諸学校と連携し、地域の特別支援教育の充実を目指す。</li> <li>5 教育活動全般を見直し、業務の軽減や適正化・効率化を図る。</li> </ol>		
項目 (担当)	重点目標	具体的方策	留意事項
生徒の主体性 の伸長 (寮務部)	工事に伴う生活環境の変化に対し、舎生自ら改善しようとする態度を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制限された空間でも有意義に過ごせる方法を、舎生とともに考えていく。</li> <li>・舎食について栄養指導を行い、買い物等で不足する栄養を補えるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衛生面を考慮し、生活環境の改善に努める。</li> <li>・栄養教諭と連携して指導を行う。</li> </ul>
教育課程の見直し、キャリア教育の充実 (教務部)	個別の指導計画の適切な目標設定と評価内容の充実を図る。	・各教科会にて、授業改善や目標設定、適切な評価の仕方について検討する。	・「思考・判断・表現」と「主体的に学習に取り組む態度」の評価内容や表現方法についての充実を図る。
教育課程の見直し、キャリア教育の充実 (進路指導部)	自らの進路を考え、主体的に進路活動を行えるよう、組織的かつ計画的な進路指導を行う	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自立活動で活用する「自分ノート」と自分の将来を関連付けられるように、見通しをもち、事前学習や振り返りをしっかり行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作業日誌や自分ノートを踏まえ、関係する教員と連携しながら進路活動を行えるようにする。</li> <li>・生徒が自ら進路活動に取り組めるように計画を明確にして進めていく。</li> </ul>
教育課程の見直し、キャリア教育の充実 (教育支援部)	自立活動の視点から作業学習の在り方について研究する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「なりたい自分に近付くための職業種目を目指して」～自分ノートを活用した自立活動の視点で～というテーマを設定し、作業学習をとおして行う自立活動を実践する。</li> <li>・全職業種目が1枚以上の事例集作成を目指す。</li> </ul>	・工業科主任や自立活動主任、教科会と連携しながら全職員で進めていく。
人権意識の涵養、安全教育の充実 (保健体育部)	心身ともに健康的な学校生活の実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の健康観察から、心や身体の状態を把握し、いじめや不登校などに学級や学年の職員と連携して対応する。</li> <li>・緊急時に備え、校内にアクションカードの設置を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと連携して対応する。</li> <li>・生徒が報告、相談しやすい関係・環境づくりに努める。</li> <li>・設置に向けてカードの内容、設置場所等を検討し、周知できるようにする。</li> </ul>
人権意識の涵養、安全教育の充実	生徒にとって安心、安全でより良い学校生活の実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・従来の指導方針を継承しつつ、社会のニーズを踏まえた生徒心得の見直しを行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒や保護者からの意見を募集し、学校全体で取り組めるように留意する。</li> </ul>

(生徒指導部)		う。 ・避難訓練の充実と危機管理マニュアルの見直しを行う。	・災害時に考えられる様々な場面を想定した訓練を実施する。
地域との連携、学校の魅力発信 (教育支援部)	地域の方々や関係機関、諸学校等、多くの方に本校の魅力を知っていただく機会を作る。	・ホームページを適宜更新して生徒の活躍の様子を伝える。 ・巡回相談等の機会を活用して、本校で現在力を入れていることについて説明する場を設定する。	・学校見学や各種研修会の機会に積極的に本校の魅力をアピールしながら、特別支援教育のセンター的機能の充実を目指す。
教職員の働き方改革の推進 (教務部)	業務の軽減・効率化を図る。	・通知表の配付回数、時期、記載内容を検討する。	・通知表配付回数を1回にすることで、考えられるメリットとデメリットを洗い出して検討する。
教職員の働き方改革の推進 (総務部)	業務の軽減や適正化・効率化を図る	・業務内容の精選と適正化を検討し、改善する。 ・紙媒体での配布物を減らす。	・各業務担当と連携して改善点を具体化し、改善方法を検討する。 ・教育支援部と連携して、メール配信やホームページでの掲載を進める。
教職員の働き方改革の推進 (部会・運営委員会)	勤務時間の適正化及び業務の効率化に向けた取組を進め、働き方改革の推進を図る。	・職員室電話の留守電メッセージ対応を導入し、勤務時間外の電話対応の在り方を見直すことで、時間外業務の削減につなげる。 ・通常日の施錠時刻を19時、ノー残業デー18時施錠とし、長時間勤務の是正につなげる。 ・マチコミアプリの全体運用の開始に伴い、紙媒体からデータ配信への移行を更に進め、保護者への情報発信の充実を図るとことで、業務負担の軽減や勤務時間外対応の改善につなげる。	・緊急連絡への対応方法を整理し、電話対応の変更に伴う保護者や関係機関への丁寧な周知を行いながら進める。 ・学校行事や繁忙期の状況にも配慮しながら、教職員間で共通理解を図り段階的な定着を目指す。 ・保護者が情報を確認しやすい配信内容や方法に配慮し、円滑な情報共有につなげる。
学校関係者評価を実施する主な評価項目		・生徒の主体性の伸長 ・教育課程の見直し、キャリア教育の充実 ・人権意識の涵養、安全教育の充実 ・地域との連携、学校の魅力発信 ・教職員の働き方改革の推進	

